

0→1 MAKE IT HAPPEN

FY20-1 経営概況説明会

CEO PRESENTATION

Creating New Customer Value
through Innovations

新たな顧客価値の創造



橋本 修
HASHIMOTO Osamu
Mitsui Chemicals Inc.
President & CEO

Jun 2, 2020

Contents

▶ **Business Performance**

19年度決算と20年度見通し

▶ **Post COVID-19**

COVID-19の影響とPost COVIDを見据えて

▶ **Topics on Targeted Business Domains**

ターゲット事業領域のトピックス

▶ **Topics on Sustainability**

ESGトピックス

▶ **Financial Overview**

財務状況

新型コロナウイルスの世界的感染拡大が未だ続く中、医療従事者をはじめ社会の機能維持の為に、日夜ご尽力頂いている皆様方に心より感謝申し上げます。

本年度は、2016年に策定した長期経営計画「VISION2025」の折り返し地点となり、これまで以上にポートフォリオ変革を加速させていかなければなりません。

足もとでは、新型コロナウイルスによる影響を受けて事業環境は厳しく、20年度の業績悪化は避けることができません。一方で、感染拡大防止に向けて化学産業が果たすべき貢献、そして、その役割の重要性は益々広く認識されています。

また、今後はポスト・コロナ社会における「新しい生活様式」の定着、需要構造、サプライチェーンの変化など世の中の在り方が大きく変わっていくことが考えられます。このような変化の時にこそ、化学の総合力、既成概念に捉われない前向きな思考と実行力で、三井化学グループの新たなステージを築きあげて参ります。

2020年6月2日

橋本 修



フェイスシールド製作支援@Mexico



#SOCIAL DISTANCING

Mitsui Chemicals
G r o u p

世界各拠点でリモートワークを実施

医療従事者の方々への支援を実施

- ・拠点各地で備蓄マスク・消毒液などを医療機関へ提供など

フェイスシールド製作支援
@メキシコ

医療用ガウン不織布

3Dプリントマスク

COVID前後で変化なし

- 1 5G、AI等デジタル技術の加速度的な進展
- 2 プラスチック問題、CO2削減等の環境・社会の持続性に対する意識・認識の高まり

COVID後の変化

- 3 公衆衛生、快適性に対する意識、ニーズの向上
- 4 米中摩擦の激化、政経一体化による地政学的リスクの増大
- 5 働き方、価値観の変化
- 6 基盤素材、モビリティは一部でCOVID-19の影響が継続

当面は長期経営計画「VISION2025」の戦略を踏襲しながら

- 1 更なるダウンサイドリスクに備えたキャッシュフローの確保
- 2 COVID-19との共存を前提とした新しいワークスタイル、サプライチェーンの検討、逐次実行

19年度決算と20年度見通し

19年度は下期からの世界的な景気減速の影響を受け、減益
ニソン製油所の出資金評価損▲121億円（FY19特別損益）
20年度は先行き不透明も下期からの回復を見込む前提で計画

日本基準(億円)

摘 要	FY2017	FY2018	FY2019	比較 日本基準 FY18→FY19
	日本基準	日本基準	日本基準	
	Results	Results	Results	
売上高	13,285	14,829	13,390	△ 1,439
営業利益	1,035	934	716	△ 218
営業外損益	67	96	△ 61	△ 157
経常利益	1,102	1,030	655	△ 375
特別損益	△ 160	23	30	7
親会社株主に帰属する 当期純利益	716	761	379	△ 382
為替レート(円/\$)	111	111	109	△ 2
国産ナフ(円/KL)	41,900	49,400	42,900	△ 6,500

IFRS^{*1}(億円)

摘 要	FY2019	FY2020	比較 IFRS ^{*2} FY19→FY20
	IFRS ^{*2}	IFRS	
	Results	Outlook	
売上収益	13,495	11,450	△ 2,045
コア営業利益	724	350	△ 374
非経常項目	△ 68	20	88
営業利益	656	370	△ 286
金融収益・費用	△ 38	△ 30	8
親会社の所有者に 帰属する当期利益	321	200	△ 121
為替レート(円/\$)	109	108	△ 1
国産ナフ(円/KL)	42,900	23,300	△ 19,600

*1) FY20より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用致します。

*2) IFRSベースのFY19決算値は、FY20との比較用に作成したものであり、監査前の暫定値です。以後も同様。

セグメント別営業利益 全体

自動車の大幅減産の影響を受け、モビリティが大幅減益
 基盤素材は、ナフサ急落による在庫評価損の影響を大きく受ける

(億円)

セグメント	FY2017	FY2018	FY2019		FY2020	比較 IFRS FY19→FY20	増減率
	日本基準	日本基準	日本基準	コア営業利益 IFRS	コア営業利益 IFRS		
	Results	Results	Results	Results	Outlook		
モビリティ	423	427	392	427	275	△152	-36%
ヘルスケア	108	136	138	126	105	△21	-17%
フード&パッケージング	199	178	181	164	160	△4	-2%
(ターゲット事業領域計)	730	741	711	717	540	△177	-25%
基盤素材	389	278	87	87	△115	△202	-232%
その他 (全社共通費用含む)	△84	△85	△82	△80	△75	5	6%
合計	1,035	934	716	724	350	△374	-52%

為替レート(円/\$)

111

111

109

108

△1

国産ナフサ(円/KL)

41,900

49,400

42,900

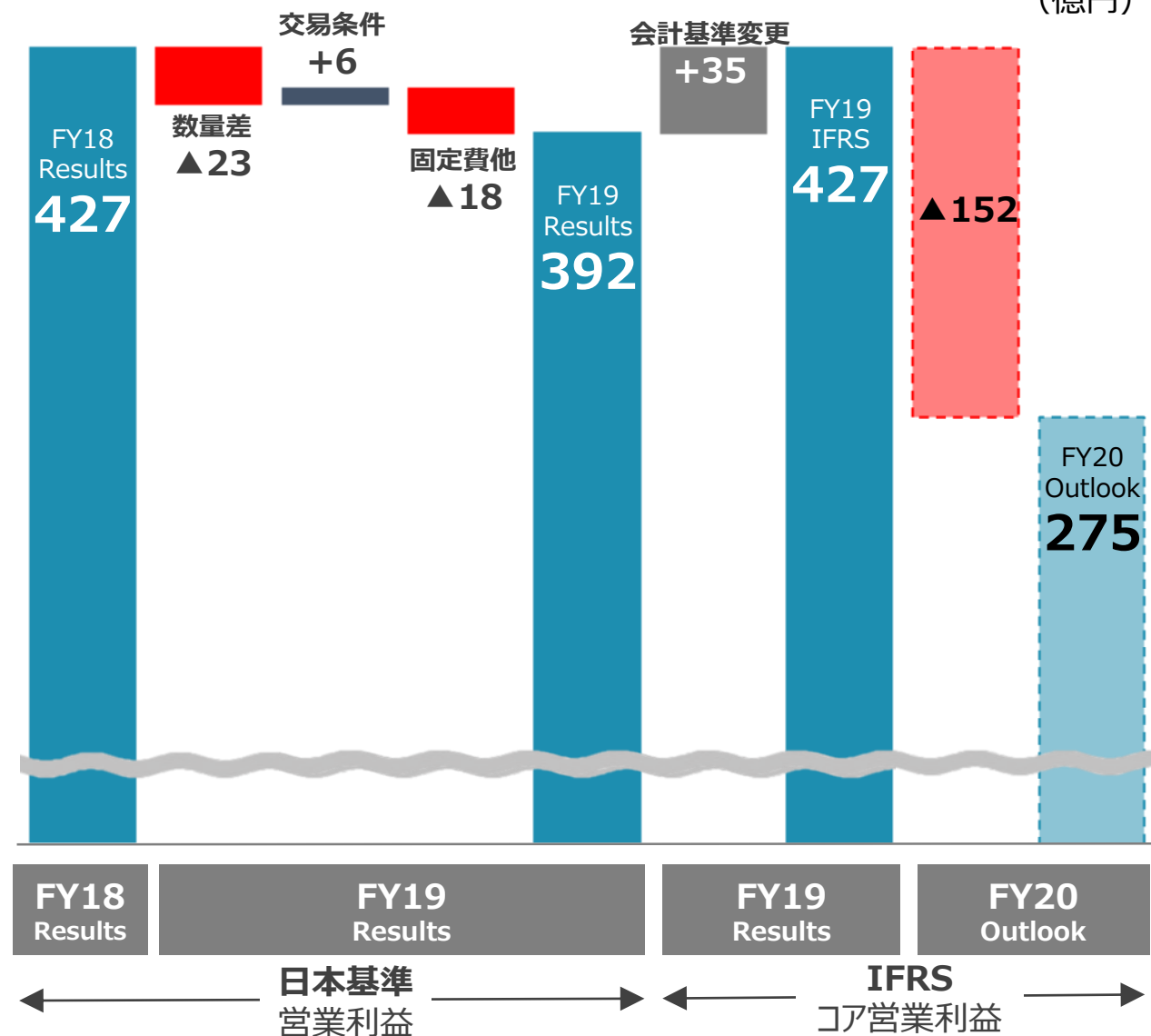
23,300

△19,600

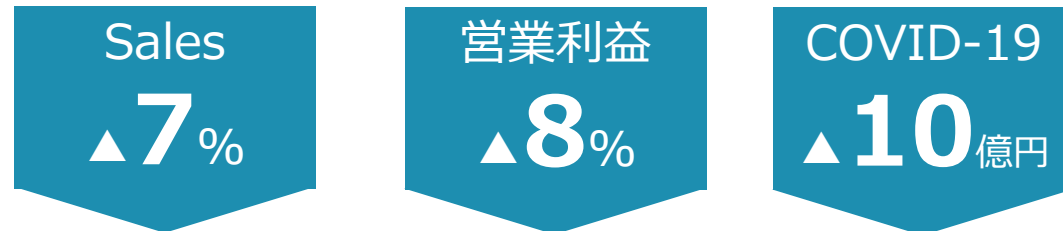
セグメント別-1: モビリティ

モビリティ営業利益 (コア営業利益)

(億円)

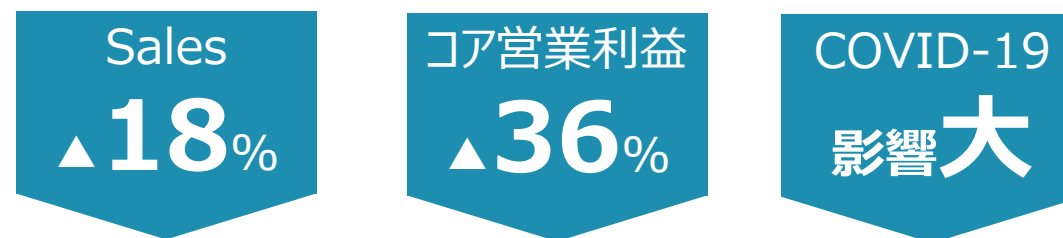


FY19 HIGHLIGHTS



- ✓ グローバル自動車生産減速(▲4%)の影響
- ✓ スマホ多眼化進捗でICT用途は順調に拡大
- ✓ COVID-19の影響は▲10億円程度

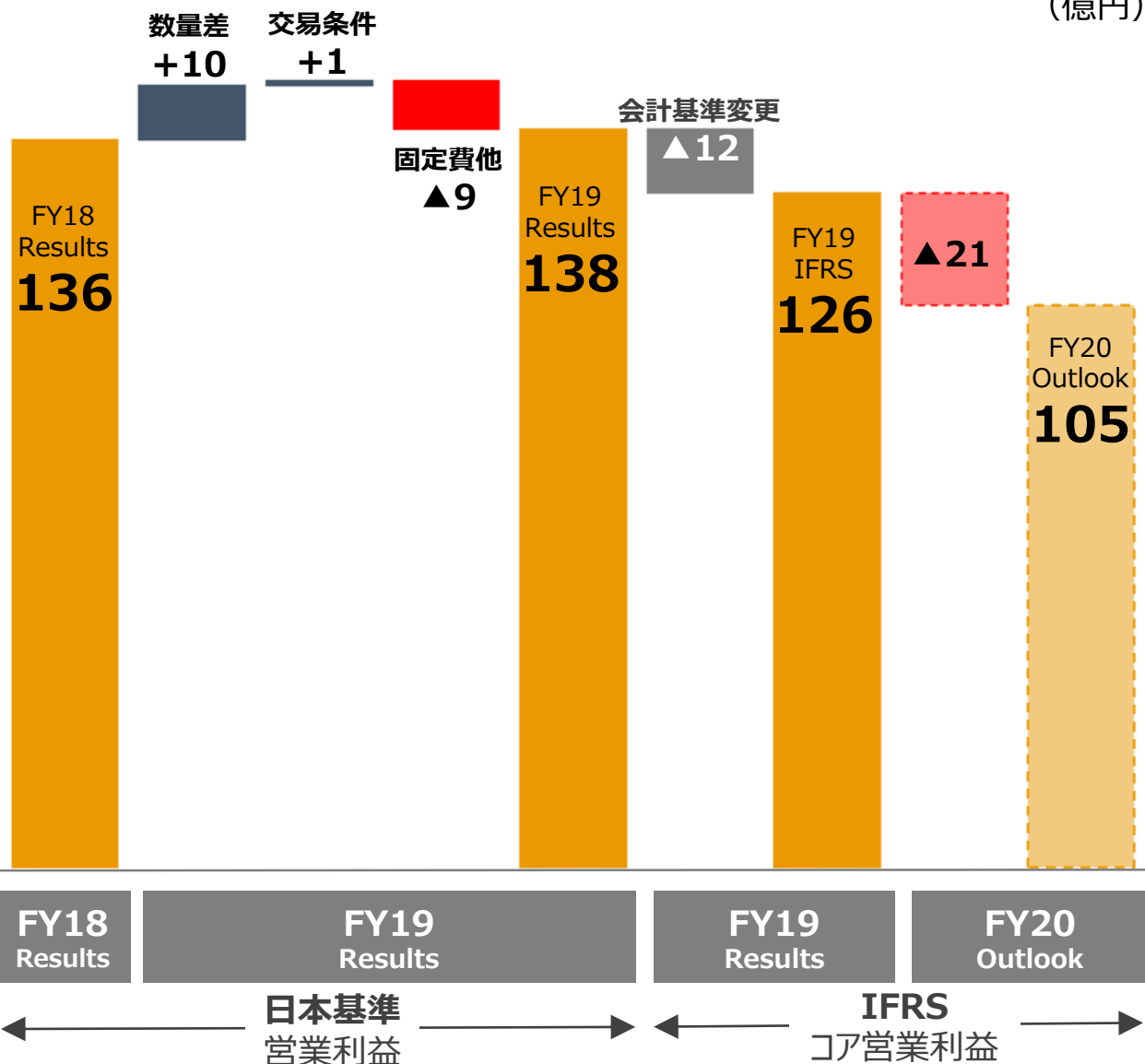
FY20 OUTLOOK HIGHLIGHTS



- ✓ COVID-19の影響により
グローバル自動車生産減速(▲20%)を見込む
- ✓ 当社ICT用途のCOVID-19影響は軽微

ヘルスケア営業利益 (コア営業利益)

(億円)



FY19 HIGHLIGHTS

Sales

▲2%

営業利益

+2%

COVID-19

▲5億円

- ✓ ビジョンケアの販売好調
- ✓ 衛材不織布(おむつ等)の大幅減益
- ✓ COVID-19の影響は▲5億円程度

FY20 OUTLOOK HIGHLIGHTS

Sales

▲2%

コア営業利益

▲17%

COVID-19

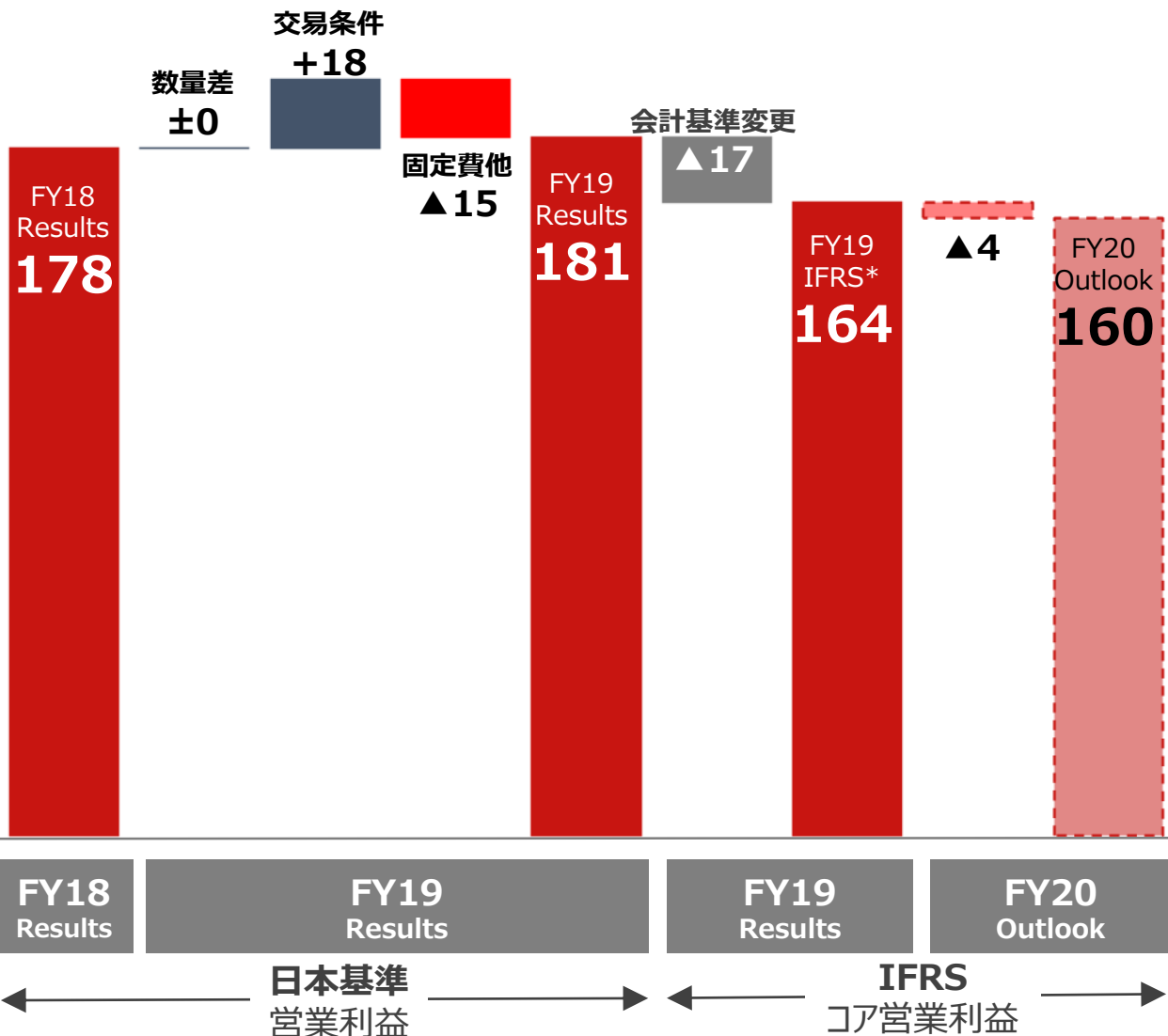
影響中

- ✓ 欧州を中心にメガネ小売店の休業により需要が減少したが、中国から徐々に回復傾向
- ✓ マスク、医療用ガウン等の特需、おむつ需要回復
- ✓ 歯科診療の減少による歯科材料需要減

セグメント別-3: フード&パッケージング

F&P営業利益 (コア営業利益)

(億円)



FY19 HIGHLIGHTS



- ✓ 半導体向けテープ好調
- ✓ 包装フィルム、コーティング材の減販
- ✓ COVID-19の影響は▲5億円程度

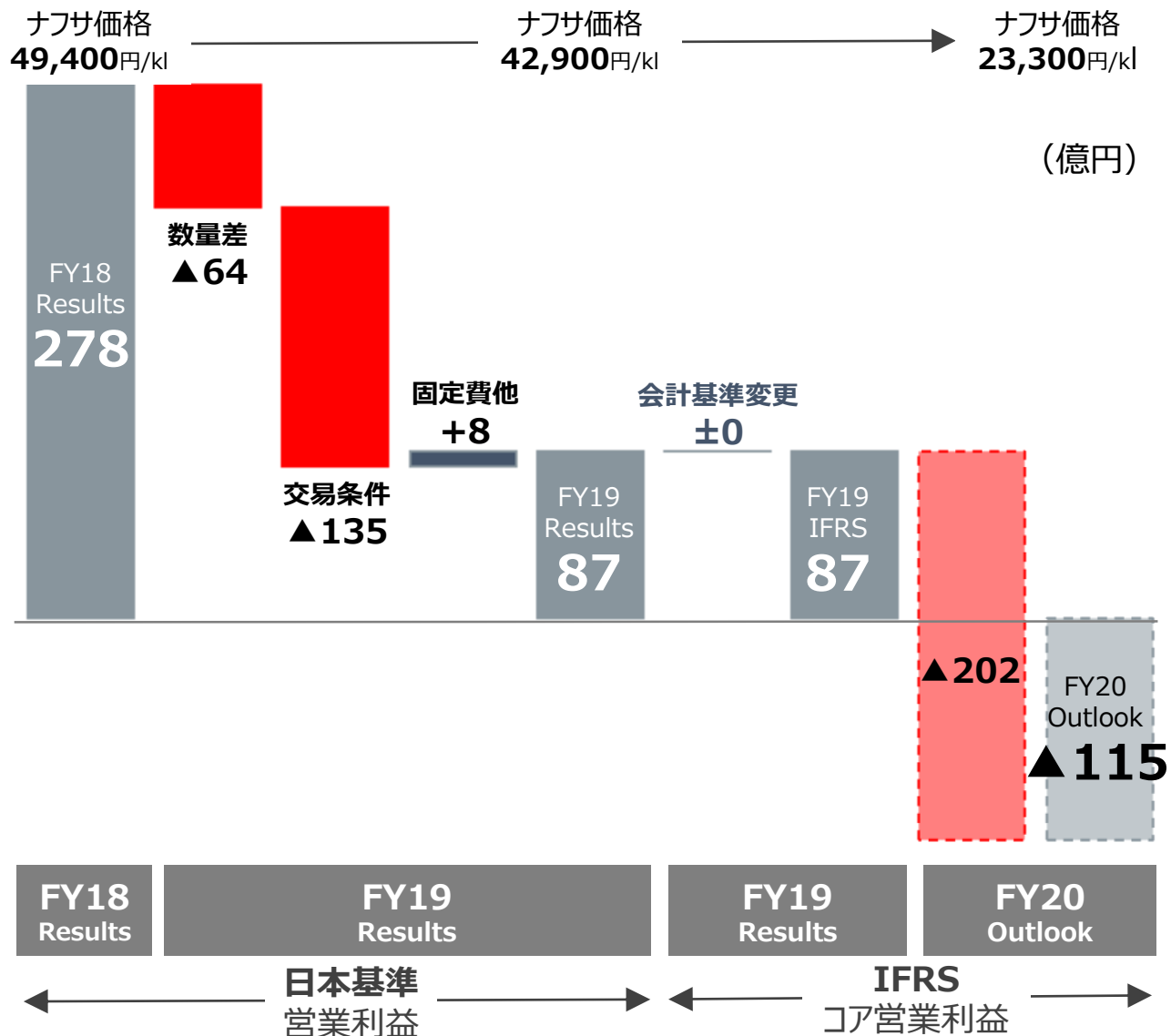
FY20 OUTLOOK HIGHLIGHTS



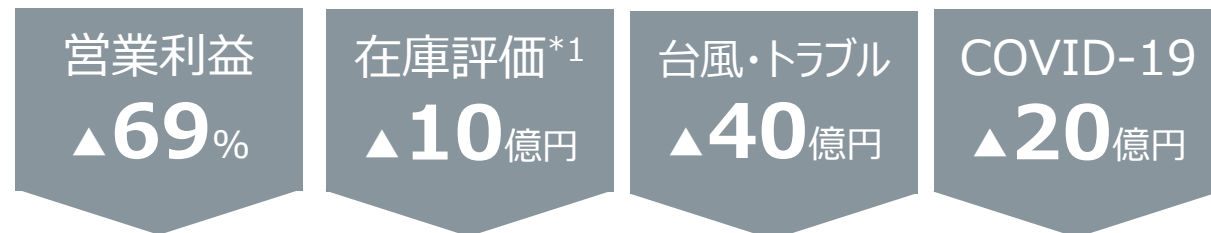
- ✓ 総じてCOVID-19の影響は軽微
- ✓ パッケージは巣籠もり需要で堅調
- ✓ 半導体向けは上期減販見込む、下期回復へ
- ✓ 農薬の海外拡販テーマ進捗

9 セグメント別-4: 基盤素材

基盤素材営業利益 (コア営業利益)

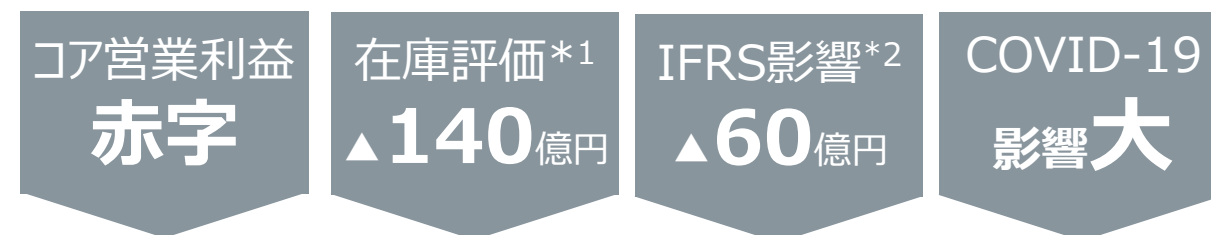


FY19 HIGHLIGHTS



- ✓ 石化・フェノールの市況スプレッド悪化
- ✓ 台風・トラブル、在庫評価損で▲50億円
- ✓ COVID-19の影響は▲20億円程度

FY20 OUTLOOK HIGHLIGHTS



- ✓ ナフサ価格急落による在庫評価損
- ✓ ライセンス案件時期遅れ
- ✓ ウレタン、PTA等持分法適用会社の算入
- ✓ 需要に応じた柔軟なクラッカー稼働を実施する

*1) 販売価格フォーミュラ期ズレ影響含む *2) 持分法適用会社、通常除却損

Contents

▶ **Business Performance**

19年度決算と20年度見通し

▶ **Post COVID-19**

COVID-19の影響とPost COVIDを見据えて

▶ **Topics on Targeted Business Domains**

ターゲット事業領域のトピックス

▶ **Topics on Sustainability**

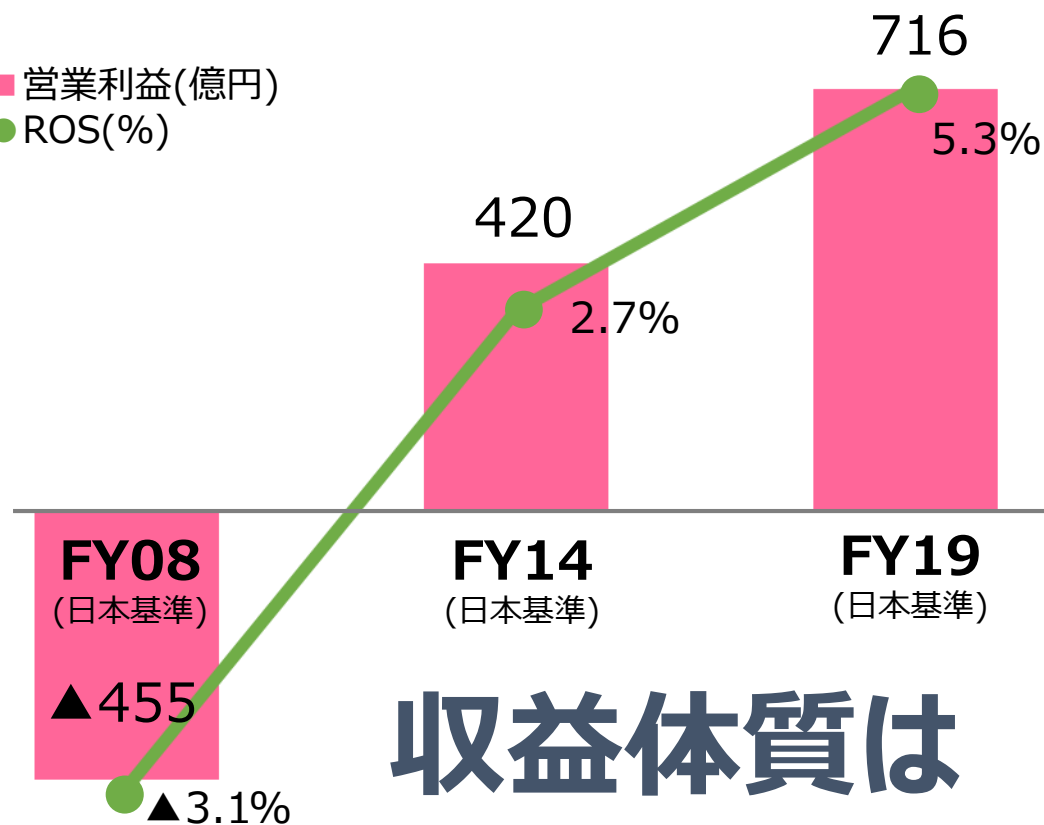
ESGトピックス

▶ **Financial Overview**

財務状況

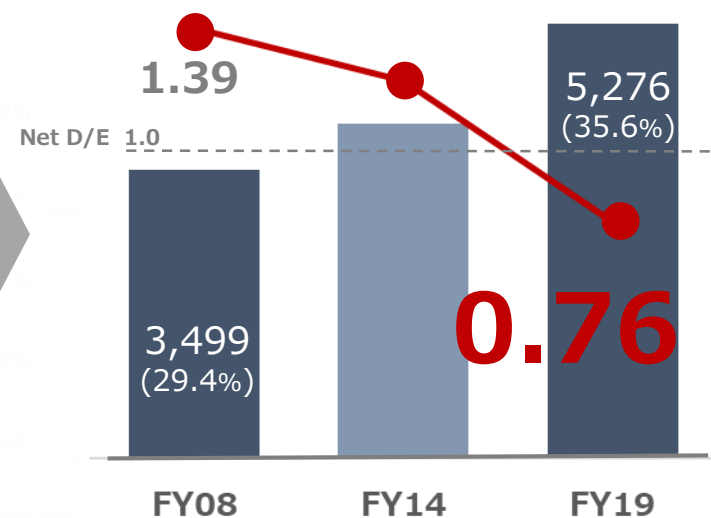
営業利益

■ 営業利益(億円)
● ROS(%)



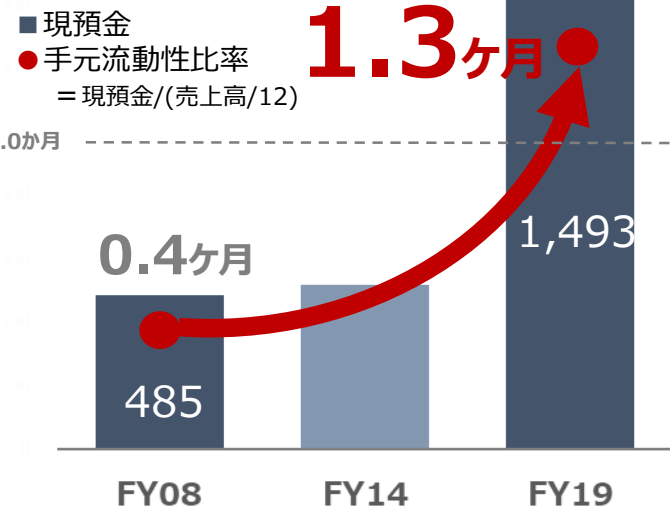
収益体質は
大幅に改善

■ 自己資本 (自己資本比率) ● Net D/E



Net D/E

大幅改善

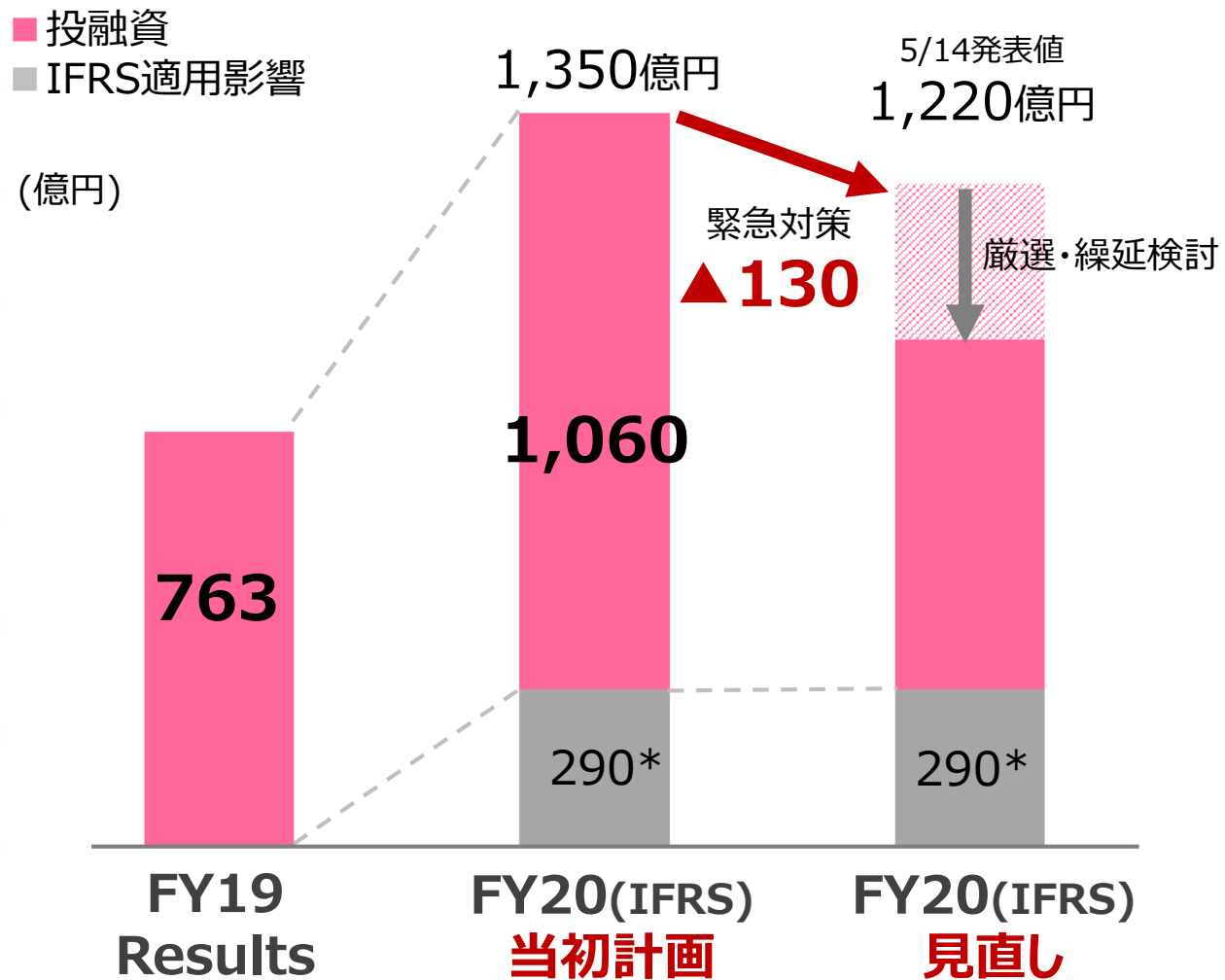


手元流動性

追加策
融資コミットメントライン
1,000億円規模

リーマン時と比較し急激な変化にも対応可能な財務基盤を確立済み

投融資(M&Aは別枠)



緊急対策

投融資削減

▲130億円 + 厳選・繰延検討

追加コストダウン

(徹底した無駄の排除)

▲30+a億円

攻めの姿勢

未来への開発・投資は継続
M&Aは別枠でチャンス窺う

*IFRS移行に伴い、FY20は定修費用などが設備投資として資産計上 (290億円)

マスク・医療用ガウン向け不織布緊急供給

- ✓ 需要急増のマスク用に加え、政府からの要請に対応し
医療用ガウン向け不織布の緊急生産開始
- ✓ ノーズクランプ用テクノロート®も加え、全工場フル稼働（四日市、名古屋、タイ、天津）



医療用ガウン*向け

*アイソレーションガウン向け

- ・1,000万着/月相当量の医療用ガウン向け不織布を急ピッチで供給体制確立(20年4月)



再利用可能3Dプリントマスク向け

- ・名古屋大学との共同研究を発表(20年5月)
- ・不織布フィルター交換システム

消毒・洗浄需要が急増

- ✓ 消毒用IPA需要急増
- ✓ 消毒液ボトル需要急増(ホリオルフィン)

巣籠もり需要が急増

- ✓ パッケージ需要増加
(包装フィルム、ホリオルフィン)

抗菌・抗ウイルス製品群の引き合い多数

FASTAID™ ウイルス・スウィーパータオル



次亜塩素酸ナトリウムの圧縮タオル
NPOとの防災・減災アイデアソンから製品化

https://jp.mitsuichemicals.com/jp/release/2020/2020_0413.htm

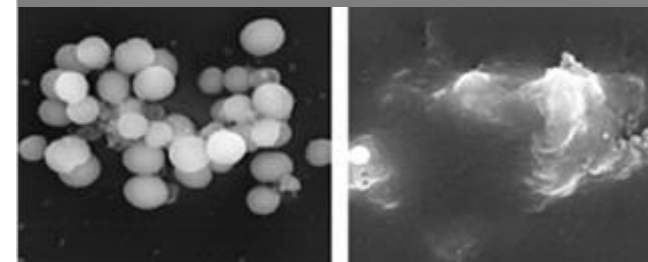
ヨートル®DP-CD (ヨウ素系新材料)



シクロカプセル化で水溶性、
耐光・耐熱性を付与した
抗菌・防カビ剤

抗菌コロイド (高分子型抗菌材料)

抗菌コロイド投入後の細菌自己融解



- ✓細菌を自己融解に導く抗菌材料
- ✓高分子のため、揮発せず安定的

カッパーストッパー™ (銅合金蒸着技術)

- ✓銅の錆びやすさを世界初の銅合金ナノ蒸着で解決
- ✓高い抗菌性能を持つ銅をより使いやすく

Post COVIDの社会変化を見据え、 いち早くマーケティング・オペレーション、機能連携を強化

出資比率増加

組織体制強化

<Mobility>
アーク
完全子会社化

<Health Care>
松風
株式追加取得

新事業開発
センター

CoE体制
(Center of Excellence)

拠点強化

ARRK
74.4%→100%

ソリューション
提案力強化

SHOFU
11.17%→20.01%

歯科材料事業の
拡大加速

次世代事業開発室に
ICT、ロボット材料事業
が合流

全領域のアーリー
ステージ開発を担う

<Mobility/F&P>
CoE体制を導入

<Health Care>
医療事業戦略G

北米
シリコンバレーオフィス
(サンノゼオフィスから改称)
ICT、Sustainability、
ヘルスケア分野の活動強化

中国・広州支店
(FY20開設予定)
モビリティ、ICT事業強化
華南地域でのビジネス拡大

組織横断的な責任と権限を付与した**CoE*体制**を始動

*CoE : Center of Excellence

今後起こりうる大きな変化を見据え、お客様に最速・最適なソリューションを提供

包括的ソリューションが求められる2ドメインから始動

Mobility

CoEプロジェクト推進室

- ✓ 軽量化ソリューション
- ✓ CASE
- ✓ ライフスタイルの変化
- ✓ 循環型経済への移行

Food & Packaging

CoEオフィス

- ✓ 循環型経済への移行
- ✓ 都市化・人口構造変化
- ✓ Food Losses & Waste削減
- ✓ デジタル化

グローバルに、情報収集・戦略立案・事業開発をリードする

医療系の事業開発加速（医療事業戦略グループを設置）

NEW HEALTH CARE BUSINESS
DEVELOPMENT DIV.

E-Glass



TouchFocus®

次世代メガネ「TouchFocus®」事業

睡眠事業



OSA*用マウスピース事業

*OSA:閉塞型睡眠時無呼吸症候群

医療事業戦略
グループ

グローバル医療機器メーカーを目指し、医療系
事業開発、新事業の探索、M&Aを推進する

外科材料

事業開発

整形外科材料の開発推進

体外診断

事業開発

細菌迅速検査システムなど体外診断事業の推進

*20年4月、旧次世代事業開発室より移管

全領域を対象に新事業の探索・創出を担う**新事業開発センター**発足

NEW BUSINESS
INCUBATION CENTER



ICT
MATERIAL

次期強化ドメインとして新事業創出



ROBOT
MATERIAL

これからの産業ロボ、コミュニケーションロボ向け
素材・部品開発



ENERGY
SOLUTION

太陽光・風力発電事業
太陽光発電診断事業(日本、インド)



OPEN
INNOVATION

社内外連携の核として活動
CVC

*メディカルソリューション事業はヘルスケアに移管

- ・基盤素材、モビリティ（自動車関連）は一部でCOVID-19の影響が継続
- ・厳しい目線で計画を立てたが、ダウンサイドリスクに備え**キャッシュフロー確保には万全を期す**
（投融资見直し、コストダウン、先回りの稼働調整・在庫圧縮、融資コミットメントライン拡充）
- ・更なる事業ポートフォリオ変革に向けて、**実行スピードを高める**
- ・基盤素材はボラティリティ改善に向けた更なる再構築の方針を**20年度内に固める**
- ・モビリティ、F&Pは投資の**確実な回収**を行い、**新たな成長モデル**を早期に実現させる
- ・成長機会をとらえた**ICT、ヘルスケア領域への積極投資による成長加速**

Contents

▶ **Business Performance**

19年度決算と20年度見通し

▶ **Post COVID-19**

COVID-19の影響とPost COVIDを見据えて

▶ **Topics on Targeted Business Domains**

ターゲット事業領域のトピックス

▶ **Topics on Sustainability**

ESGトピックス

▶ **Financial Overview**

財務状況



》》Mobility

総合力を駆使したソリューションの提供

世界的な自動車減産の影響を受けるも、Post COVIDに向けた準備を進める

Forecast) IHS Markit(Apr.2020), CY19→CY20

North America

Market Outlook

▲25%

- アメリカ一部生産再開
- メキシコ一部生産再開
- LGFの生産体制確立



South America

Market Outlook

▲25%

- ブラジル生産停止中

Europe

Market Outlook

▲25%

- 欧州新拠点、営業運転開始



ASEAN+India

Market Outlook

▲30%

- タイ一部生産調整中、**増強工事完工間近**
- インド生産停止中

Japan

Market Outlook

▲20%

- LGFの生産体制確立
- 下期からOEM生産回復基調へ

China

Market Outlook

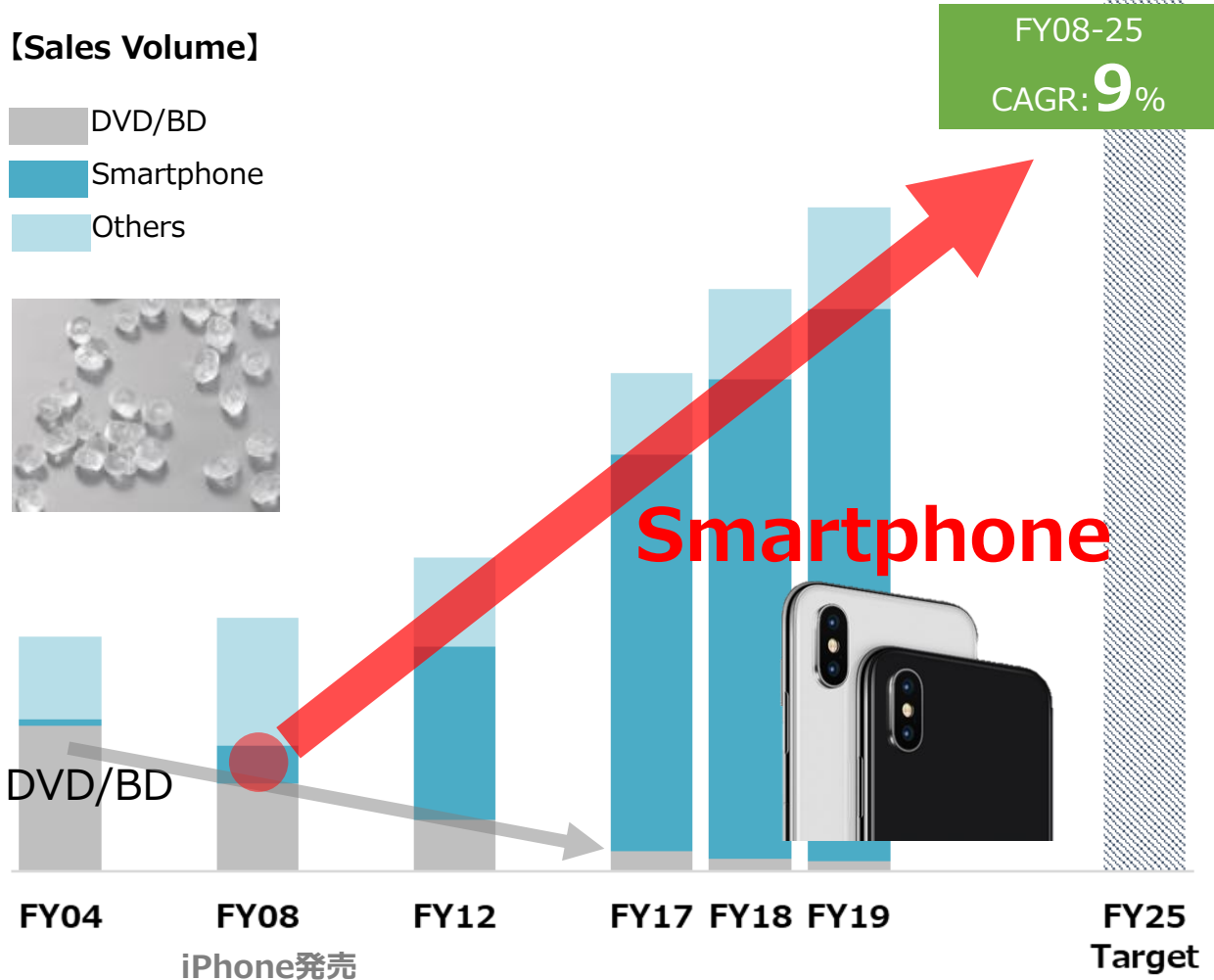
▲15%

- 4、5月 対前年並みに生産回復
- LGF新設工事完工間近



光学樹脂アペル®の新プラント建設

アペル®の販売は順調に拡大



背景

- ✓スマホカメラ多眼化により、スマホ台数以上の**高成長継続**
- ✓運転支援システムの高度化に伴い、**車載カメラ**向け拡大加速
- ✓ワークスタイル変化に伴い、VR、AR等新規デバイス向け拡大加速

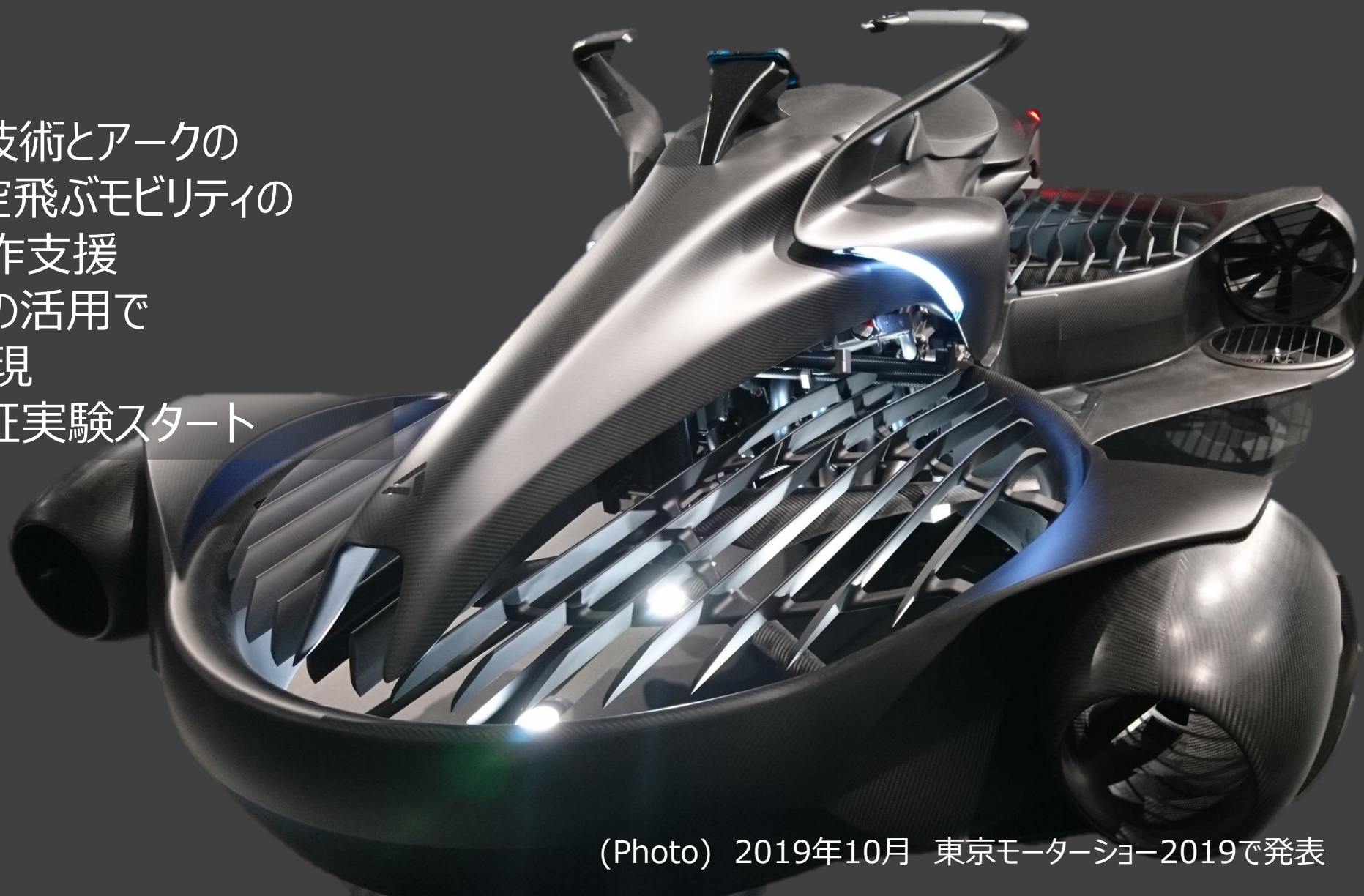
拡大

生産能力 **1.5倍**へ

大阪工場に新プラント建設
22年3月完工予定



- ✓ 三井化学の素材技術とアークの試作支援機能で空飛ぶモビリティのコンセプトモデル製作支援
- ✓ 異素材接着技術の活用で剛性・軽量化を実現
- ✓ 2019年度より実証実験スタート



(Photo) 2019年10月 東京モーターショー2019で発表

FY21以降の収益化案件パイプラインが充実、投資回収フェーズ

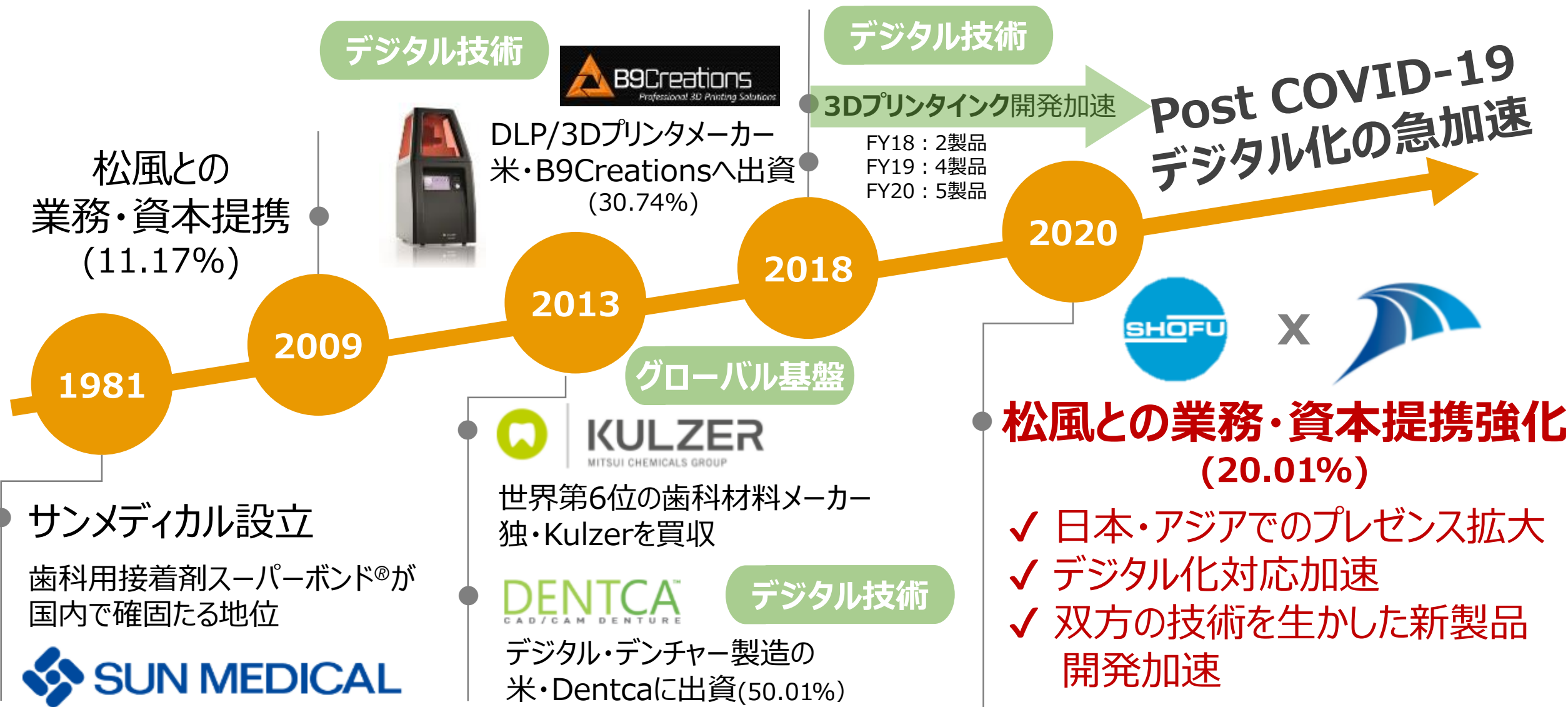
モビリティ投資案件(一部)		能力 (KTA)	収益貢献スケジュール					備考	
			安定成長			成長加速			
			FY17	FY18	FY19	FY20	FY21		FY22
PPコンパウンドの グローバル展開	能力増強@India	10							✓世界8極体制でグローバルトップ戦略 ✓自動車生産台数の増加 ✓世界的な軽量化ニーズの拡大により、 1台当たりのPP使用量拡大は続く
	能力増強@N.A	20							
	能力増強@Mexico	10							
	能力増強@India	12							
	能力増強@Thailand	13							
	新拠点設立@Netherland	30							
長繊維ガラス強化PPの グローバル展開	能力増強@Japan	3.5							✓世界3極体制確立 ✓樹脂化パーツの適用拡大
	新拠点設置@N.A	3.5							
	新拠点設置@China	3.5							
機能性コンパウンド事業の グローバル展開	ミラストマー®能力増強@Japan	5							✓グローバル拡大強化 ✓ラインナップ拡充で提案力強化
	ミラストマー®TPS事業買収	-							
	ミラストマー®能力増強@N.A	6							
	ミラストマー®能力増強@Japan	-							
	アドマー®能力増強	-							
ICT向け機能性ポリマー	アペル®新プラント	+50%							✓スマホレンズ向け需要拡大
LiB関連材料の強化	電解液増強@Japan	5							✓電解液の特殊添加剤技術で日・中Libメーカーでの 採用拡大 ✓セパレーター向け材料のスタンダード維持
	電解液増強@China	5							
	ハイゼックスミリオン®増強@Japan	1							
高性能エラストマーの拡大	タフマー®能力増強@Singapore	25							✓世界トップシェアの堅持
	タフマー®特殊銘柄増強@Japan	-							
次世代半導体材料	EUVペリクル新設備@Japan	-							✓先端領域でのNo.1ポジション
自動車潤滑油材料	ルーカント®新拠点@Japan	20							✓ルーブリゾール社との連携による拡大
ソリューション強化	ARRK社株式取得	-							✓材料・設計・金型・試作のトータルソリューションを グローバルに提供、パーツの樹脂化促進
	ARRK社完全子会社化	-							
	モビリティデベロップメントセンター	-							
	デザイン&ソリューションセンター開設	-							
	CoE体制	-							



Health Care

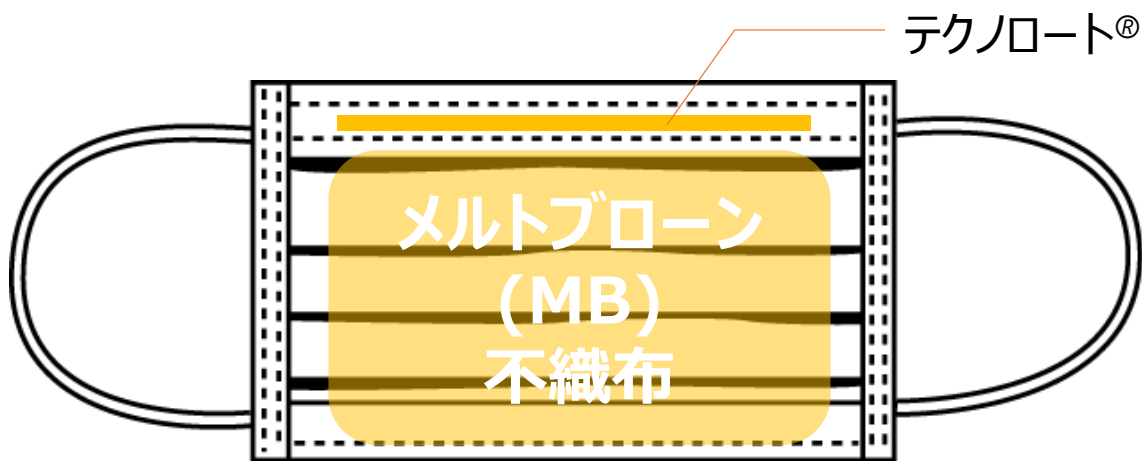
ケミカルイノベーションが、
Quality of Life に貢献

松風との業務・資本提携強化により、日本・アジアでのプレゼンス拡大



マスク需要への対応

文化を越えた 世界的なマスク需要の恒常化



- ① ノーズクランプ用形状記憶素材
テクノロート®の増強検討
- ② **MB不織布**の更なる増強検討

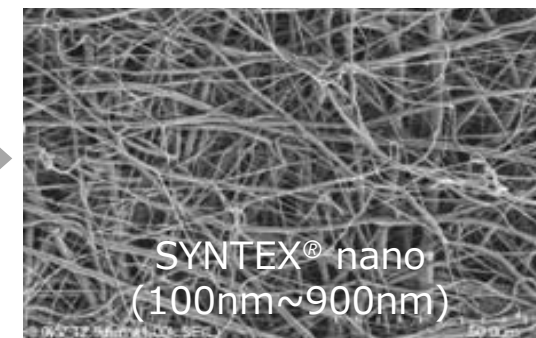
5G向け需要堅調

ナノ不織布の増強完了 (20年1月)

半導体回路の微細化

Needs

濾過フィルターの微細化



- 豊富な細繊維ラインナップ
- フィルター流量特性が高く評価

産業材用途の拡大加速





Food & Packaging

食糧問題へのソリューションを提供し、
新たな事業機会を獲得

農薬新規原体 テネベナール® 本格拡大へ

【特長】 IRAC*新カテゴリーに登録される新原体

【戦略】 農薬・生活環境・ベクター分野で多角的に拡大

*殺虫剤抵抗性対策委員会

農薬分野
(BASF・各国販社)

生活環境分野
(販社・施工業者)

ベクター分野
(IVCC・ゲイツ財団)



3か国で登録取得
原体販売開始
5か国で申請中

国内防蟻剤上市
イクスガード®
衛生害虫駆除

マラリア撲滅活動
・IVCCと優先国合意
・アフリカ大規模試験
開始予定

登録国拡大

用途拡大

開発加速

大牟田工場での増産検討中

体温を感知して、やさしくヒトによりそう新素材

HUMOFIT™

CONCEPT

HUMAN

ヒトの

+

THERMO

体温で

+

FIT

フィット

<https://jp.mitsuichemicals.com/jp/special/humofit/index.htm>

温度依存性

Temperature Dependency

形状記憶性

Shape Memory



アパレル



モビリティ



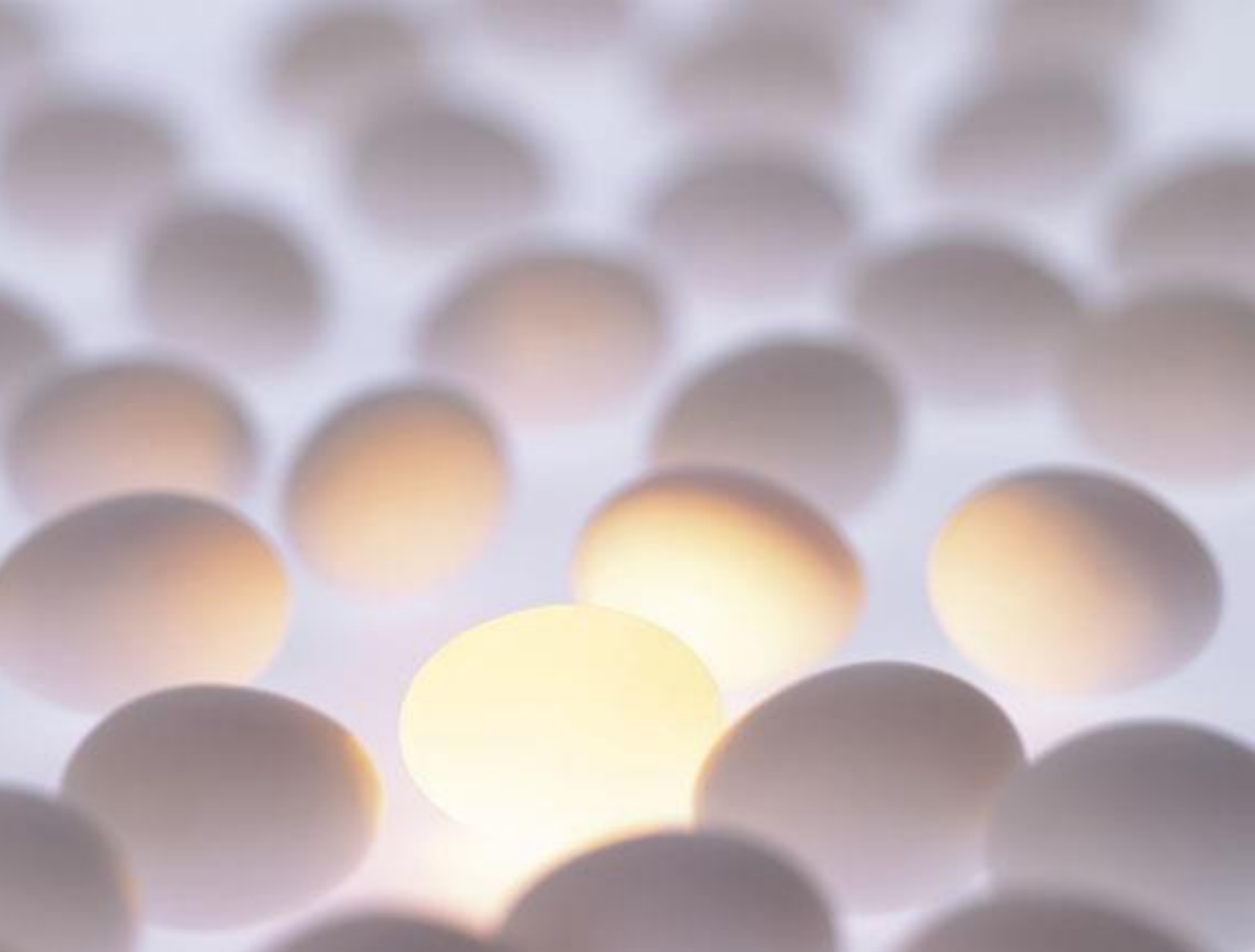
スポーツ



医療・介護



制震・防音



New Business Incubation Center

未来の新事業創出・アーリーステージ開発

全領域を対象に新事業の探索・創出を担う新事業開発センター発足

NEW BUSINESS
INCUBATION CENTER



ICT
MATERIAL

次期強化ドメインとして新事業創出
(まずは売上1,000億円規模を目指す)



ROBOT
MATERIAL

これからの産業ロボ、コミュニケーションロボ向け
素材・部品開発



ENERGY
SOLUTION

太陽光・風力発電事業
太陽光発電診断事業(日本、インド)



OPEN
INNOVATION

社内外連携の核として活動
CVC

*メディカルソリューション事業はヘルスケアに移管

デジタル化に貢献するICT材料を次期強化ドメインへ

当社のICT関連材料

	モビリティ	ヘルスケア	F&P	基盤素材	新事業開発センター
半導体	三井ペリクル™ 防塵カバーフィルム	SYNTEX® nano 濾過フィルター等	イクロステープ® 製造工程用テープ	特殊ガス シラン、ジシラン等	半導体テストプロセス
ディスプレイ & イメージング	TPX® 反射フィルム プロベスト® LED反射材	TouchFocus® 次世代メガネ 機能性色素 色純度向上フィルタ 視感度調整フィルタ	ストラクトボンド® 液晶、有機ELシール材		ディスプレイプロセス エクリオス® : 透明ポリイミド イメージングプロセス
センシング	アペル® レンズ材料				センサー&ソリューション ミューフレックス®、ピエゾラ® 圧電センサ材料
電子材料	アーレン® 変性ポリアミド6T		SP-PET™ MLCC工程フィルム オピュラン® 耐熱離型フィルム		実装プロセス エレファンテック、コネクテックジャパン

エレファンテックとの協業 Additive Manufacturing Center (AMC)

インクジェットによるアディティブマニュファクチャリングの可能性追求、量産を推進するAMCを設置
(センター長を当社から派遣)



エレクトロニクス



ヘルスケア



テキスタイル



オプティクス

名古屋工場内に量産設備設置 (20年10月完工)

Z-Worksとのプロダクト開発



IoTデバイス、コンサルティングを行う
Z-WORKSへ出資、連携 (20年3月)



圧電センサ
PIEZOLA®

X

IoTデバイス AI技術

= 見守り介護ベッド用バイタルセンサ

高感度センサ「PIEZOLA®」で
心拍・呼吸データを採取



夜間巡回負担を50-90%削減



介護現場の負担軽減に貢献

既存事業の成長投資、新規プロジェクトが進捗

ICT関連プロジェクト(一部)		スケジュール					
		FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22
新事業開発センター始動							
半導体	EUVペリクル新設						
	イクロステーブ新工場@台湾						
	シンテックスナノ増強						
ディスプレイ&イメージング	アベル新プラント@大阪						
	エクリオス®上市			顧客評価	進捗中		
	色純度向上フィルタ色素						
センシング	視感度調整フィルタ色素						
	圧電センサ材料実需化						
	Z-Worksへの出資						
電子材料	エレファンテックとの戦略提携、出資						
	コネクテックジャパンとの戦略提携、出資						
	アディティブマニュファクチャリングセンター						
	エレファンテック新工場@名古屋						

当社の素材・技術を組み合わせたロボット部品開発



MELTIN

X 質感素材

= アバターロボット「MELTANT-β」



防塵・防滴・超伸縮スキン

- ✓ 動きに追従する超伸縮性
- ✓ 稼働時のエネルギー負荷を低減するしなやかな素材

*2020年度より実証実験開始

<https://www.meltin.jp/news/419/>

バババワールド

X 音響技術

= エンタメロボット「ビッグクラッピー」



ゲル新素材で人の拍手音を再現

- ✓ 人肌触感
- ✓ 人の拍手音と同じ広い周波領域



<https://www.bigclappy.com/>



Basic Materials

社会・産業の基盤となる素材の提供

ナフサ急落による在庫評価損の影響大きく赤字見込み、さらなる再構築進める

(億円)

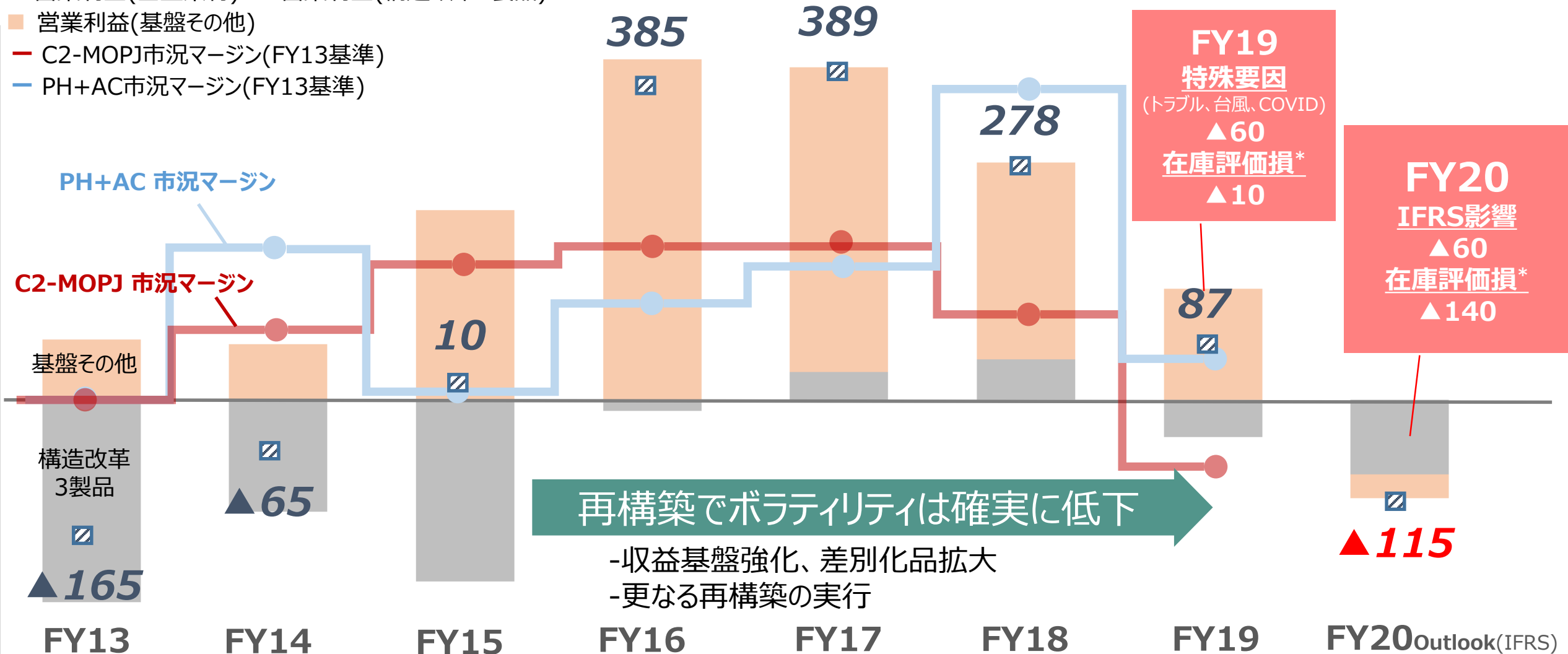
*販売価格フォーミュラ期ズレ影響含む

■ 営業利益(基盤素材) ■ 営業利益(構造改革3製品)

■ 営業利益(基盤その他)

— C2-MOPJ市況マージン(FY13基準)

— PH+AC市況マージン(FY13基準)



Contents

▶ **Business Performance**

19年度決算と20年度見通し

▶ **Post COVID-19**

COVID-19の影響とPost COVIDを見据えて

▶ **Topics on Targeted Business Domains**

ターゲット事業領域のトピックス

▶ **Topics on Sustainability**

ESGトピックス

▶ **Financial Overview**

財務状況

環境貢献価値

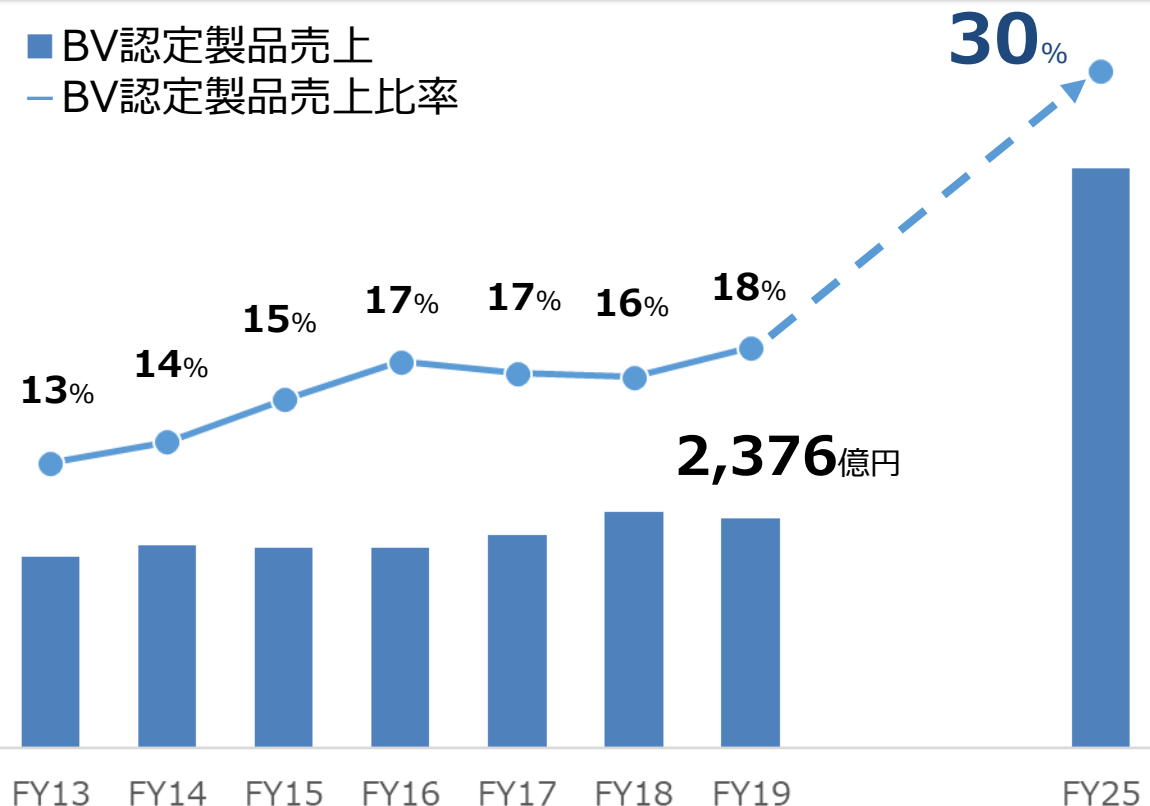
Blue Value®

CO₂を減らす

資源を守る

自然と共生する

■ BV認定製品売上
— BV認定製品売上比率



Blue Value®拡大に向けた開発テーマ増加

- バイオPPの開発
- 各種リサイクルプロジェクト

QOL向上価値

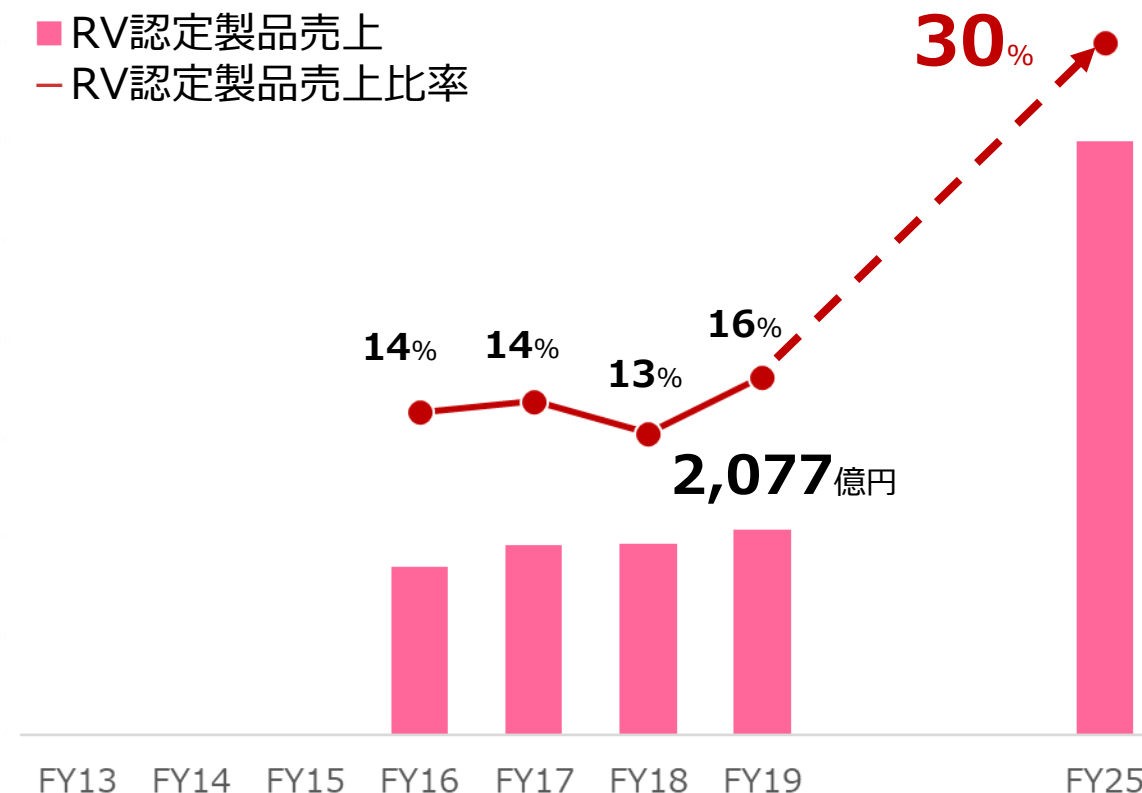
Rose Value®

くらしと社会を豊かにする

健康寿命を延ばす

食を守る

■ RV認定製品売上
— RV認定製品売上比率

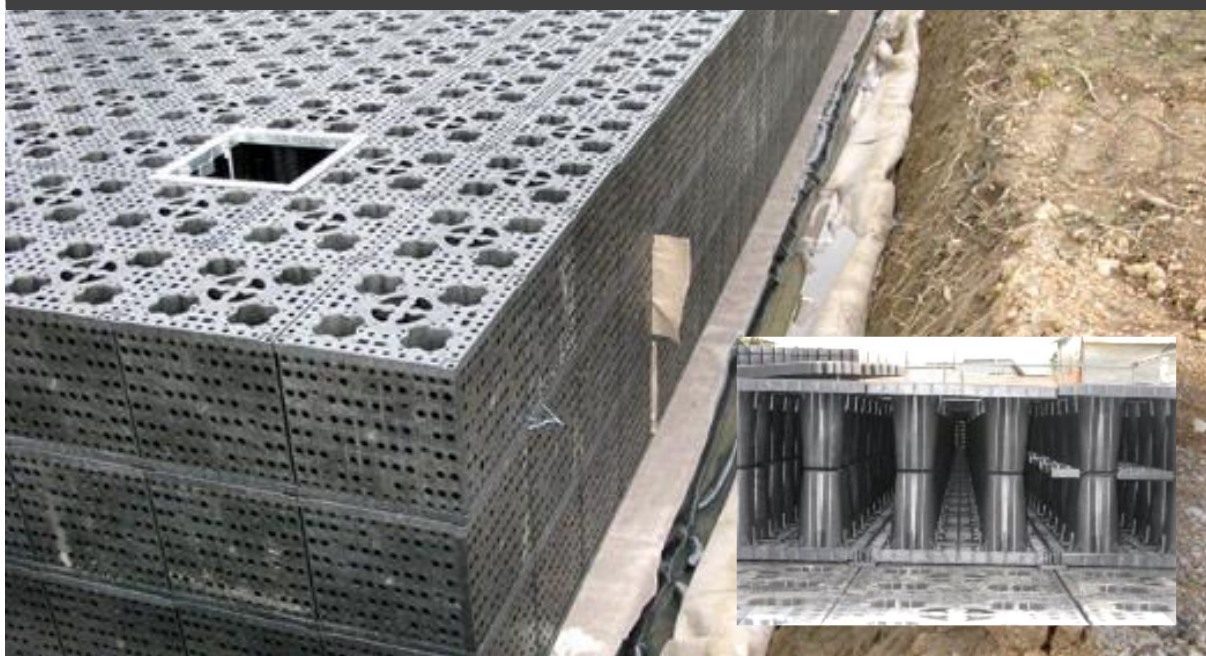


Rose Value®に「まちの持続性確保」を追加

- まちの防災減災対応
- インフラの長寿命化・ICT化を推進

「防災・減災性能の付加・向上」

雨水貯留浸透槽 「ジオプール」



雨水の流出制御

水害発生が増大に伴い、地下貯留浸透施設用に増加
リサイクルプラスチック使用

「インフラの長寿命化・延命化」

コンクリート表面強化材 「タフネスコート®」



コンクリート構造物の延命化

吹き付け塗装により柔軟で強固な不透水膜を形成、
老朽化による剥落防止、耐衝撃性向上

気候変動・プラスチック戦略Gの設置

全社戦略として気候変動とプラスチック問題に取り組み、循環経済の実現に貢献する

役割

1

気候変動対応方針、プラスチック戦略の推進

2

循環経済をはじめとするグローバルなESG情報収集、分析

3

TCFDへの対応、情報開示の強化

UNEP*との取組

*国連環境計画

プラスチック廃棄物削減に貢献するアジアのスタートアップ企業を支援



AYA CUP

Vietnam

Linh Le



リユース可能なカップの利用を支援するシステムの開発



REMAKEHUB

China

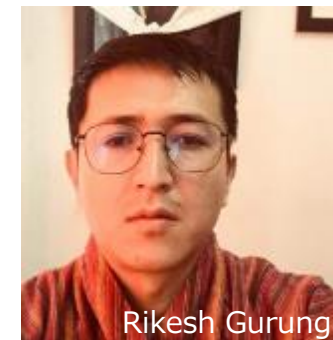
Sissi Chao



海洋ごみをコンシューマープロダクトにアップサイクル

THE GREEN ROAD

Bhutan



Rikesh Gurung

プラスチックごみを道路の舗装に活用

Contents

▶ **Business Performance**

19年度決算と20年度見通し

▶ **Post COVID-19**

COVID-19の影響とPost COVIDを見据えて

▶ **Topics on Targeted Business Domains**

ターゲット事業領域のトピックス

▶ **Topics on Sustainability**

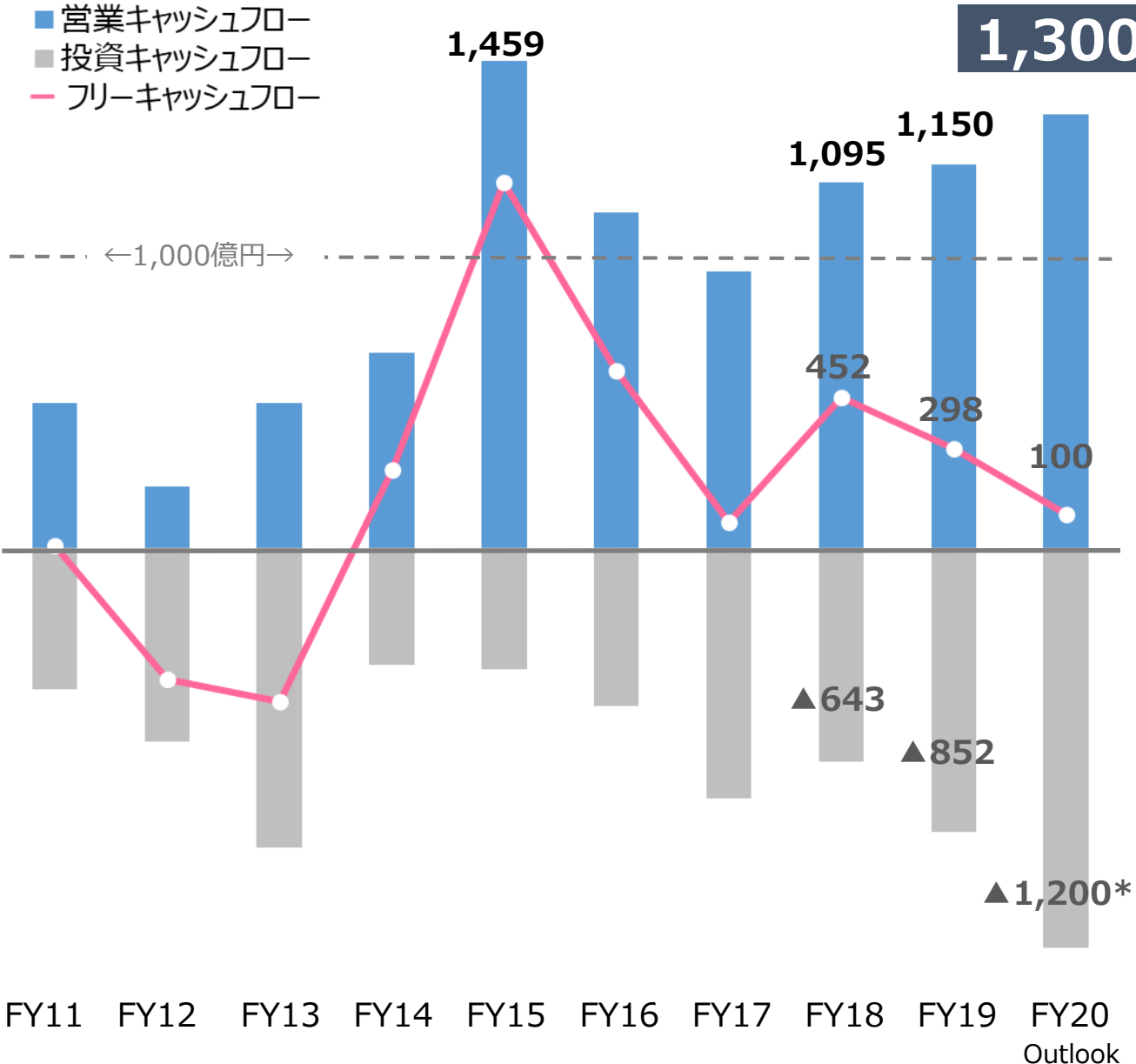
ESGトピックス

▶ **Financial Overview**

財務状況

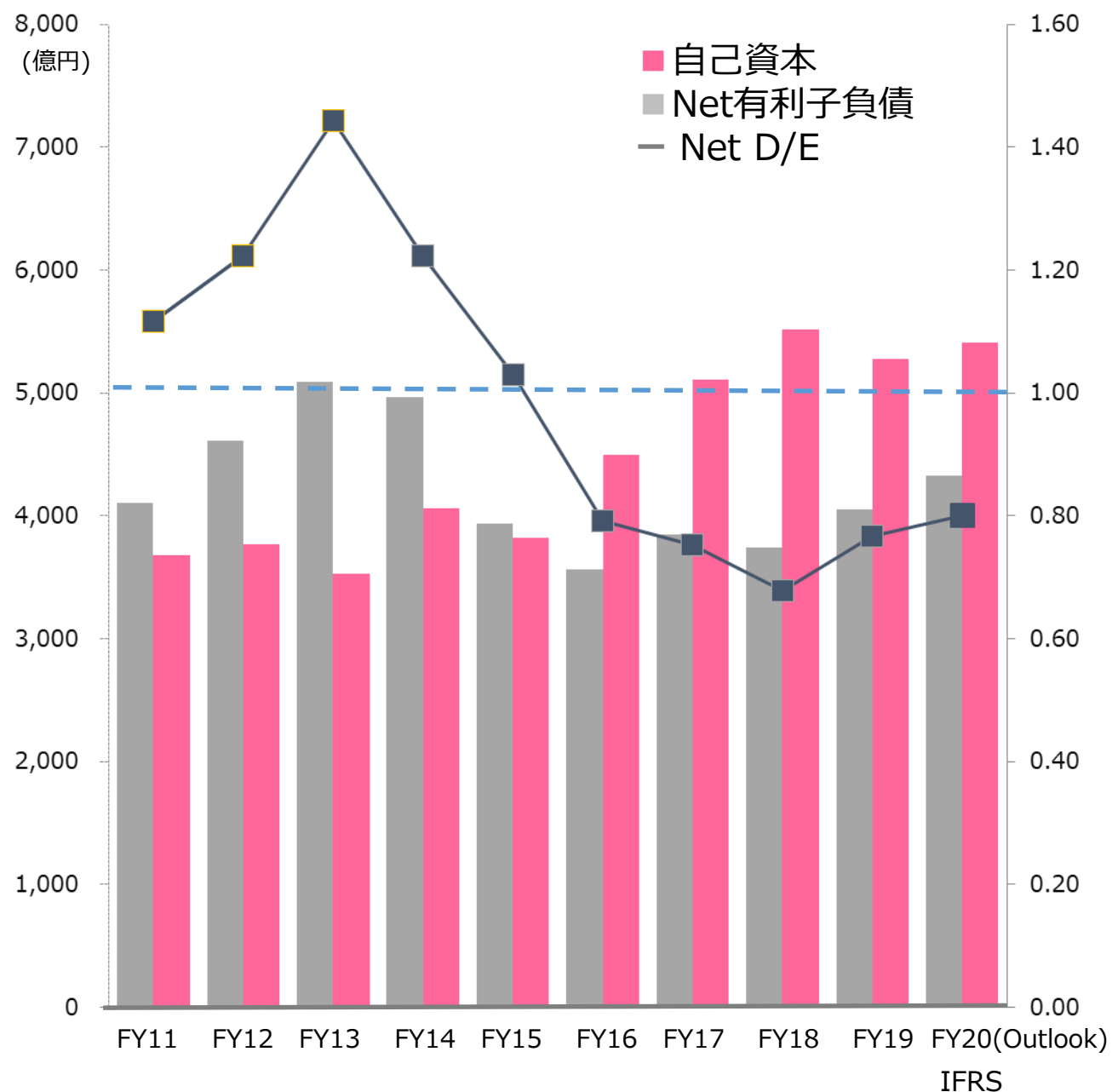
(億円)

- 営業キャッシュフロー
- 投資キャッシュフロー
- フリーキャッシュフロー



営業キャッシュフローは
高水準を維持

*IFRS移行に伴い、FY20は定修費用などが設備投資として資産計上（290億円）



FY19
(日本基準)
Results
Net D/E

0.76

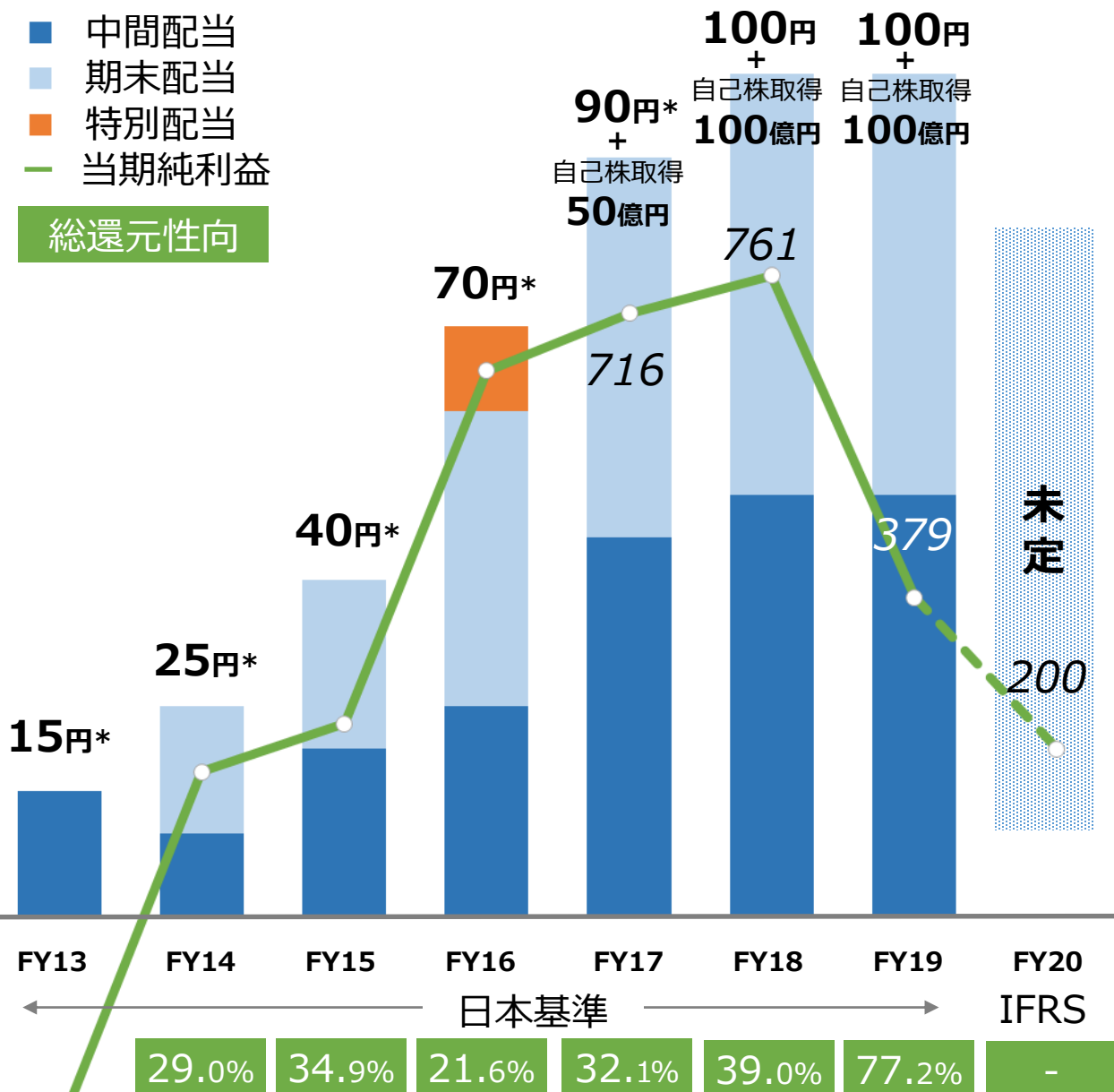
FY20
(IFRS)
Outlook
Net D/E

0.80

健全性を保持

- 中間配当
- 期末配当
- 特別配当
- 当期純利益

総還元性向



*株式併合後の株式数を基に修正

FY20配当未定も 還元方針に変更なし


株主還元方針

- ✓ 総還元性向**30%以上**を目指す
- ✓ **安定的かつ継続的な配当**
- ✓ 自己株式取得を機動的に行う

(億円) IFRS	日本基準		日本基準	日本基準	IFRS		見直し検討
	FY15 Results	➤➤	FY18 Results	FY19 Results	FY20 Outlook	➤➤➤	VISION 2025
Sales	13,439	➤➤	14,829	13,390	11,450	➤➤➤	20,000
コア営業利益*1 (ROS)	709 (5.3%)	➤➤	934 (6.3%)	716 (5.3%)	350 (3.1%)	➤➤➤	2,000 (10%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益*1	230	➤➤	761	379	200	➤➤➤	—
ROE	5.8%	➤➤	14.3%	7.0%	3.7%	➤➤➤	10%以上
ROIC*2	4.9%	➤➤	5.7%	4.4%	2.0%	➤➤➤	8%以上
Net D/E	1.03	➤➤	0.68	0.76	0.80	➤➤➤	0.8以下
総還元性向	34.9%	➤➤	39.0%	77.2%	30%以上	➤➤➤	30%以上

*1) 日本基準は営業利益、当期純利益 *2) ROIC : 投下資本利益率 = 税引後営業利益(IFRS : 税引き後コア営業利益)/投下資本

**COVID後の新たな価値観、ニーズ、リスクなどの
急激な社会変化をチャンスと捉え、
戦略、組織、技術を連動させた新しい会社像と
その実現に向けて長期経営計画の見直しを進める**

The background of the slide is a bright blue sky filled with soft, white, fluffy clouds. A large, solid blue arrow points from the left side of the image towards the right, starting from the top and bottom edges and meeting at a point on the right side. The text is centered within the blue area of the arrow.

新たな顧客価値を創造し
事業活動を通じて
社会課題を解決する

0→1 MAKE IT HAPPEN



三井化学

Challenge Diversity One Team

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。